

稲作だより

第8号 穂肥編

令和6年7月4日

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動最上地域本部
(最上総合支庁農業技術普及課) ☎0233-29-1333

葉数が平年よりやや多く(生育がやや早く)、茎数が過剰な圃場が見られます。
出穂期は平年より早まる見込みです。**中干し・作溝は必ず実施し、適期に穂肥ができるよう準備**しましょう。

表1 生育診断圃の調査結果(6/28 現在)

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
はえぬき (新庄市泉田)	本年	39.4	533	9.4	45.8
	平年	40.3	567	8.6	44.0
	平年比	98	94	0.8	1.8
つや姫 (舟形町富田)	本年	58.0	710	9.4	44.4
	平年	45.8	595	9.2	44.4
	平年比	127	119	0.2	0.0
雪若丸 (新庄市泉田)	本年	34.0	641	9.3	45.9
	平年	35.3	632	8.7	45.3
	平年比	96	101	0.6	0.6
あきたこまち (最上町向町)	本年	48	674	9.4	46.7
	平年	41	543	9.1	45.8
	平年比	116	124	0.3	0.9

出穂期は平年より早い見込み

出穂期は、7月1日現在、中山間「あきたこまち」で平年より2日、平坦部「はえぬき」で平年より4日早まる見込みです(表2)。今後、高温で経過した場合、さらに早まります。

表2 幼穂調査による出穂予測(7/1 現在)

品種 (地域)	本年 移植日	出穂期		
		本年 予測値	平年値	平年差
はえぬき (新庄市泉田)	5月25日	8月3日	8月7日	-4
つや姫 (舟形町富田)	5月17日	-	8月9日	-
雪若丸 (新庄市泉田)	5月25日	8月4日	8月7日	-3
あきたこまち(最上町向町)	5月22日	7月30日	8月1日	-2

※「つや姫」は、まだ幼穂を確認できなかった。

早めの生育診断と穂肥

穂肥の時期が遅れると、食味が低下する可能性があります。出穂期が平年より早まるのに合わせて、生育診断し、適期に穂肥を実施しましょう。

表2 本年における生育診断と穂肥の時期

品種	出穂期 [※]	生育診断時期	適正生育時の穂肥時期
はえぬぎ	8月3日	7/5頃	7/9 (出穂25日前)
つや姫	(8月9日)	7/5頃	7/10 (出穂30日前)
雪若丸	8月4日	6/30頃	7/10 (出穂25日前)
あきたこまち	7月30日	-	7/10 (出穂20日前)

※生育診断圃における7/1現在の予測日、「つや姫」はまだ幼穂が確認できないため、平年値を記載。

表3 「つや姫」「雪若丸」「あきたこまち」の穂肥時期・量

品種	生育	莖数 (本/m ²)	条件	葉色 (SPAD)	施肥窒素量の上限(kgN/10a)		
					出穂30日前	出穂25日前	出穂20日前
つや姫	適正	≤600	かつ	≤39	1.5		
	やや過剰	600~650	または	39~41	1.0		
	過剰	≥650	または	≥41		1.0 [※]	
雪若丸	適正	560~750	かつ	40~44		1.5	
	過剰	750以上	または	44以上		1.0	
	不足	560未満	または	40未満	(早め)1.5		
あきたこまち	(基本は)						2.0

※葉色の低下を確認した場合に施肥する。追肥時の適正な葉色は36~37。

表4 「はえぬぎ」の生育診断事例

生育	診断	対応
莖数 700本/m ² 以上	糶数過剰	減肥する
莖数 450本/m ² 以下	糶数不足	穂肥時期を早める
葉色 40以上	葉色濃い	減肥する
葉色 36以下	葉色薄い	基準どおり穂肥

窒素成分で1.5~2.0kg/10a、出穂25日前の穂肥を基準する。

カメムシ類の発生量多い

カメムシ類の発生量が急増しており、平年より多い状況です。畦畔・農道・休耕田等で、現在雑草が繁茂しているところでは、7月20日までに**速やかに草刈り等を行いまし**よう。ただし、7月20日以降の草刈りは、カメムシ類の水田侵入を助長するため、原則行わないようにします。また、地域一斉に薬剤防除できるよう計画を立てましょう。